

2024年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年6月12日

上場会社名 アートグリーン株式会社 上場取引所 名
コード番号 3419 URL <http://www.artgreen.co.jp/>
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 豊
問合せ先責任者(役職名) 常務取締役 (氏名) 芝田 新一郎 (TEL) 03-6823-5926
四半期報告書提出予定日 2024年6月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年10月期第2四半期の連結業績(2023年11月1日~2024年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年10月期第2四半期	1,289	4.1	36	△3.3	37	5.2	17	△17.0
2023年10月期第2四半期	1,239	8.2	38	△14.8	35	△31.7	20	△38.6

(注) 包括利益 2024年10月期第2四半期 17百万円(△15.3%) 2023年10月期第2四半期 20百万円(△38.2%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2024年10月期第2四半期	14	69	—	—
2023年10月期第2四半期	18	05	17	60

(注) 2024年10月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年10月期第2四半期	1,333	—	524	—	39.4	—
2023年10月期	1,250	—	507	—	40.6	—

(参考) 自己資本 2024年10月期第2四半期 524百万円 2023年10月期 507百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年10月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年10月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年10月期の連結業績予想(2023年11月1日~2024年10月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	2,605	4.9	68	326.2	66	401.3	34	—	29	70

(注)1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注)2 親会社株主に帰属する当期純利益の対前期増減率は1,000%を超えるため、「—」と記載しております

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年10月期 2 Q	1,171,600株	2023年10月期	1,171,600株
2024年10月期 2 Q	242株	2023年10月期	242株
2024年10月期 2 Q	1,171,358株	2023年10月期 2 Q	1,148,434株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があり、将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。なお、業績予想に関する事項は、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(会計方針の変更)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の分類移行により、社会経済活動の正常化が進み、円安を背景とした国内観光需要の回復や、訪日外国人観光客の増加などもあり、景気は緩やかな回復基調となりました。一方でウクライナ情勢の長期化、エネルギー価格や原材料価格の高騰、高インフレ抑制を目的とした世界的な金融引き締め、円安や消費者物価の上昇などから、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

花き業界においては、東京都中央卸売市場の市場統計情報によると、2024年2月から4月までの、らん鉢取扱金額は1,075百万円（前年同期比8.0%減）、ファレノプシス類（胡蝶蘭鉢）の取扱金額は1,004百万円（前年同期比8.2%減）と、いずれも前年同期比減という傾向で推移しております。

このような事業環境の中、フラワービジネス支援事業は、主力である法人贈答用胡蝶蘭の新規顧客開拓及び既存顧客に対する訪問営業活動等、販売促進に注力いたしました。ナーセリー支援事業は、新規顧客開拓と当社オリジナル園芸資材の販売促進に注力いたしました。フューネラル事業は、新規顧客開拓と既存顧客のニーズに合わせた商品及びサービスの提案に注力いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は1,289,520千円（前年同期比4.1%増）、営業利益36,928千円（前年同期比3.3%減）、経常利益37,127千円（前年同期比5.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益17,207千円（前年同期比17.0%減）となりました。

なお、当社グループの事業セグメントは単一セグメントであるため、セグメント情報は記載せず、主要な事業について記載しております。

(フラワービジネス支援事業)

フラワービジネス支援事業につきましては、主力である法人贈答用胡蝶蘭の新規顧客開拓及び既存顧客への販売促進に注力いたしました。対面での営業活動も回復し、商談相手のご要望に合わせてオンライン商談も継続しながら効率的に進めることができました。また、オフィス環境の快適化に取り組む企業向けに、観葉植物やフェイクグリーンのオフィス緑化や新商品のグリーンウォール「bio」の提案も積極的に進めることができました。

以上の結果、フラワービジネス支援事業の売上高は869,387千円（前年同期比1.7%増）となりました。

(ナーセリー支援事業)

ナーセリー支援事業につきましては、引き続き新規顧客開拓とオリジナル園芸資材の販売強化に注力しました。エネルギーや原材料価格の高騰による生産コストの上昇が続くことから、種苗をはじめ各種園芸資材の販売単価の値上げ等についても慎重に進めました。

製販一体による栽培、流通、販売の最適化を進めたことにより、提携農園で栽培された胡蝶蘭を自社製品として内部利用する使用率を高めたため、売上高は前年同期微減で推移いたしました。

以上の結果、ナーセリー支援事業の売上高は276,297千円（前年同期比3.6%減）となりました。

(フューネラル事業)

フューネラル事業につきましては、新規顧客開拓及び既存顧客への販売促進に注力し、何れも順調に進めることが出来ました。

葬儀業界全体の環境としましては、大都市圏を中心に葬儀単価の減少傾向が続く中、葬儀件数につきましては増加傾向にあります。全国的に家族葬や密葬、葬儀の小型化による葬祭規模の縮小化が続いており、今後も葬儀規模は縮小傾向で進んでいくと考えられますので、引き続き既存取引先や葬儀業界関係各社との情報交換を積極的に行いながら、柔軟な対応と新サービスの提供に取り組んでおります。

以上の結果、フューネラル事業の売上高は143,834千円（前年同期比46.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は1,333,757千円となり、前連結会計年度末と比べ83,533千円増加しました。

流動資産は1,175,260千円となり、前連結会計年度末と比べ94,181千円増加しました。その主な要因は、現金及び預金が16,181千円、受取手形及び売掛金が52,730千円、仕掛品が10,925千円それぞれ増加し、貸倒引当金が△17,304千円減少したことによるものであります。

固定資産は158,497千円となり、前連結会計年度末と比べ10,648千円減少しました。その主な要因は、投資その他の資産のその他に含まれております保険積立金が3,427千円増加した一方で、のれんが1,540千円、無形固定資産のその他に含まれておりますソフトウェアが4,942千円、投資その他の資産のその他に含まれております繰延税金資産が5,049千円それぞれ減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は808,911千円となり、前連結会計年度末と比べ65,966千円増加しました。

流動負債は468,260千円となり、前連結会計年度末と比べ39,162千円増加しました。その主な要因は、賞与引当金が6,611千円、その他に含まれております未払消費税等が5,968千円減少した一方で、支払手形及び買掛金が6,882千円、1年内返済予定の長期借入金が26,451千円、未払法人税等が12,771千円、その他に含まれております未払金が10,063千円それぞれ増加したことによるものです。

固定負債は340,651千円となり、前連結会計年度末に比べ26,804千円増加しました。その主な要因は、長期借入金が27,338千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は524,846千円となり、前連結会計年度末と比べ17,566千円増加しました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益17,207千円を計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年10月期の業績予想につきましては、本日公表いたしました「第2四半期業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予測数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	610,305	626,486
受取手形及び売掛金	317,413	370,143
商品及び製品	38,542	35,692
仕掛品	111,285	122,211
原材料及び貯蔵品	321	321
その他	28,563	28,451
貸倒引当金	△25,352	△8,047
流動資産合計	1,081,078	1,175,260
固定資産		
有形固定資産	13,025	11,287
無形固定資産		
のれん	16,177	14,637
その他	37,394	31,844
無形固定資産合計	53,572	46,481
投資その他の資産		
その他	106,194	127,114
貸倒引当金	△3,647	△26,386
投資その他の資産合計	102,547	100,728
固定資産合計	169,145	158,497
資産合計	1,250,223	1,333,757
負債の部		
流動負債		
買掛金	106,343	113,226
1年内返済予定の長期借入金	189,332	215,783
未払法人税等	5,123	17,894
賞与引当金	21,483	14,871
株主優待引当金	3,678	842
その他	103,136	105,641
流動負債合計	429,097	468,260
固定負債		
長期借入金	312,992	340,330
その他	854	321
固定負債合計	313,846	340,651
負債合計	742,944	808,911

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	143,012	143,012
資本剰余金	94,997	94,997
利益剰余金	268,338	285,546
自己株式	△465	△465
株主資本合計	505,883	523,090
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,396	1,755
その他の包括利益累計額合計	1,396	1,755
純資産合計	507,279	524,846
負債純資産合計	1,250,223	1,333,757

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)
売上高	1,239,235	1,289,520
売上原価	704,227	737,131
売上総利益	535,008	552,388
販売費及び一般管理費	496,804	515,460
営業利益	38,203	36,928
営業外収益		
受取利息	112	113
受取配当金	27	52
受取助成金	601	—
為替差益	—	1,665
その他	241	747
営業外収益合計	982	2,579
営業外費用		
支払利息	1,916	2,379
為替差損	1,965	—
その他	20	0
営業外費用合計	3,902	2,380
経常利益	35,283	37,127
特別損失		
固定資産売却損	—	423
固定資産除却損	1,956	491
特別損失合計	1,956	915
税金等調整前四半期純利益	33,327	36,212
法人税、住民税及び事業税	8,382	14,114
法人税等調整額	4,220	4,890
法人税等合計	12,603	19,005
四半期純利益	20,724	17,207
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	20,724	17,207

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)
四半期純利益	20,724	17,207
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22	359
その他の包括利益合計	22	359
四半期包括利益	20,746	17,566
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	20,746	17,566
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	33,327	36,212
減価償却費	7,108	7,727
のれん償却額	1,974	1,540
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,444	5,433
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△11,245	△6,611
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	△2,628	△2,836
受取利息	△112	△113
受取配当金	△27	△52
受取助成金	△601	—
支払利息	1,916	2,379
為替差損益 (△は益)	1,963	△1,665
固定資産売却損益 (△は益)	—	423
固定資産除却損	1,956	491
営業保証金の支出	△50	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△104,468	△73,245
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△17,560	△8,076
仕入債務の増減額 (△は減少)	22,084	6,882
前渡金の増減額 (△は増加)	△6,783	△4,800
未払金の増減額 (△は減少)	15,278	10,063
未払費用の増減額 (△は減少)	1,673	△1,869
その他	3,595	△3,265
小計	△51,154	△31,380
利息及び配当金の受取額	102	99
助成金の受取額	446	—
利息の支払額	△1,542	△2,287
法人税等の支払額	△10,711	△2,870
法人税等の還付額	—	2,815
営業活動によるキャッシュ・フロー	△62,860	△33,623
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,562	△2,762
定期預金の払戻による収入	600	600
有形固定資産の取得による支出	△2,445	△1,213
有形固定資産の売却による収入	—	163
無形固定資産の取得による支出	△6,830	△305
敷金及び保証金の差入による支出	△1,186	—
敷金及び保証金の回収による収入	—	75
保険積立金の積立による支出	△1,586	△1,586
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,010	△5,028

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	5,233	—
短期借入れによる収入	50,000	200,000
短期借入金の返済による支出	△50,000	△200,000
長期借入れによる収入	170,000	160,000
長期借入金の返済による支出	△89,123	△106,211
リース債務の返済による支出	△501	△516
財務活動によるキャッシュ・フロー	85,608	53,272
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	8,740	14,619
現金及び現金同等物の期首残高	322,231	258,940
現金及び現金同等物の四半期末残高	330,972	273,559

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

「電子記録移転有価証券表示権利等の発行及び保有の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第43号 2022年8月26日 企業会計基準委員会)を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。